



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 武部 一弘 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,100	17.1	△153	—	△105	—	△152	—
2021年3月期第2四半期	1,793	△35.9	△502	—	△417	—	△437	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △214百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △359百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	△102.48	—
2021年3月期第2四半期	△294.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	23,105	9,966	43.1	6,701.05
2021年3月期	23,449	10,191	43.4	6,852.43

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 9,955百万円 2021年3月期 10,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	14.4	△190	—	△120	—	△190	—	△127.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	1,500,000株	2021年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	14,338株	2021年3月期	14,338株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	1,485,662株	2021年3月期2Q	1,485,731株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化し、依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況の中、当社は公共交通事業者としての責務を果たすため、お客様や従業員の感染予防の徹底を図りながら鉄道の運行継続に努めました。また、感染症流行の拡大防止に最大限留意しつつ、沿線地域の事業者等と連携した各種イベントを開催するなど、誘客活動による沿線地域の活性化と収益の確保に努めました。その他、東京2020オリンピック聖火リレーが行われ、当社は特別列車や長瀬ラインくだりにより秩父から長瀬までの聖火輸送に協力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は2,100百万円（前年同期比17.1%増）、営業損失は153百万円（前年同期は502百万円の営業損失）、経常損失は105百万円（前年同期は417百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は152百万円（前年同期は437百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

上記のとおり、前年同期に対して一定程度の業績回復はあったものの、営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益はいずれも利益を計上するまでには至っていないことから、更なる業績回復に向けて経営努力を行ってまいります。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前年同期比較は基準の異なる算定方法にもとづいた数値を用いております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

鉄道事業におきましては、従業員のマスク着用、列車・駅設備の消毒、車内換気をはじめ各種の感染症拡大防止策の徹底を継続いたしました。

旅客部門におきましては、聖火輸送で使用した五輪カラーの電気機関車や秩父が舞台となったアニメに関連したイベントの開催、記念乗車券の発売など様々な企画を実施いたしました。また、「えきdeサマーマルシェinなごころ」をはじめ沿線の市町や商業施設、同業他社と連携したイベントの開催や企画列車の運転など旅客誘致に努めました。

定期・定期外旅客の人員及び収入は、前年同期に比べ増加したものの、在宅勤務の浸透や沿線の各種行事の中止などもあり依然として厳しい状況が続きました。

貨物部門におきましては、輸送量及び収入とも前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は1,464百万円（前年同期比14.6%増）、営業損失は106百万円（前年同期は409百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、前年同期と比較し、請負工事収入が増加したほか、駐車場の稼働率が緩やかに回復し賃貸収入も増加いたしました。

この結果、営業収益は160百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は82百万円（同6.7%増）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、個人のお客様は回復基調にあるものの、団体での利用は依然として低調であり、厳しい状況が続きました。

この結果、営業収益は169百万円（前年同期比24.2%増）、営業損失は27百万円（前年同期は46百万円の営業損失）となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、学校団体などの貸切バス需要に回復傾向が見られるものの、依然として厳しい状況が続きました。

この結果、営業収益は58百万円（前年同期比142.6%増）、営業損失は63百万円（前年同期は94百万円の営業損失）となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、感染症の影響が続く中、卸売・小売業ではコンビニエンスストアの売上が回復基調になったほか、旅行業では鉄道事業と連携した企画に取り組むなど増収に努めました。一方、建設業においては工事などの受注が減少いたしました。

この結果、営業収益は399百万円（前年同期比3.7%増）、営業損失は47百万円（前年同期は31百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ344百万円減少し23,105百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ121百万円減少し2,276百万円、固定資産は223百万円減少し20,828百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、売掛金の減少等によるものです。固定資産減少の主な要因は、その他に含まれる長期未収金の減少等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ119百万円減少し13,138百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ404百万円減少し4,232百万円、固定負債は284百万円増加し8,906百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、買掛金の減少等によるものです。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ225百万円減少し9,966百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（2021年11月12日）別途公表の「2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正ならびに特別利益及び特別損失に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,268,495	1,250,918
受取手形及び売掛金	437,771	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	205,024
分譲土地建物	96,192	96,178
商品及び製品	30,606	30,420
原材料及び貯蔵品	142,191	150,711
その他	427,471	547,185
貸倒引当金	△4,496	△3,830
流動資産合計	2,398,231	2,276,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,276,126	14,149,345
減価償却累計額	△10,078,593	△10,004,043
建物及び構築物 (純額)	4,197,533	4,145,301
機械装置及び運搬具	5,156,384	5,335,231
減価償却累計額	△4,627,908	△4,677,171
機械装置及び運搬具 (純額)	528,475	658,060
土地	15,483,590	15,483,590
その他	706,959	714,668
減価償却累計額	△644,916	△633,844
その他 (純額)	62,042	80,824
有形固定資産合計	20,271,641	20,367,776
無形固定資産	35,748	32,102
投資その他の資産		
投資有価証券	480,135	393,263
繰延税金資産	16,640	9,536
その他	270,072	47,990
貸倒引当金	△22,503	△21,959
投資その他の資産合計	744,345	428,830
固定資産合計	21,051,735	20,828,709
資産合計	23,449,967	23,105,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	378,740	87,589
短期借入金	961,000	1,105,000
1年内返済予定の長期借入金	1,100,822	1,103,427
未払法人税等	53,388	37,627
未払消費税等	174,145	35,543
賞与引当金	157,790	158,042
資産撤去引当金	658,597	658,597
その他	1,152,160	1,046,719
流動負債合計	4,636,644	4,232,547
固定負債		
長期借入金	2,442,508	2,776,071
繰延税金負債	50,939	58,269
再評価に係る繰延税金負債	4,426,748	4,426,748
退職給付に係る負債	1,467,938	1,413,515
特別修繕引当金	6,300	18,900
長期預り金	85,563	86,841
その他	141,371	125,871
固定負債合計	8,621,369	8,906,218
負債合計	13,258,014	13,138,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	19,014	19,014
利益剰余金	△538,724	△701,609
自己株式	△31,525	△31,525
株主資本合計	198,764	35,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282,349	222,691
土地再評価差額金	9,699,958	9,699,958
退職給付に係る調整累計額	△682	△3,028
その他の包括利益累計額合計	9,981,625	9,919,621
非支配株主持分	11,563	11,051
純資産合計	10,191,953	9,966,553
負債純資産合計	23,449,967	23,105,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業収益	1,793,317	2,100,271
営業費		
運輸等営業費及び売上原価	1,680,128	1,619,211
販売費及び一般管理費	615,323	634,161
営業費合計	2,295,451	2,253,372
営業損失(△)	△502,134	△153,101
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	4,852	8,523
土地物件貸付料	9,657	10,289
助成金収入	89,380	46,864
その他	2,078	3,317
営業外収益合計	105,974	69,001
営業外費用		
支払利息	13,698	13,104
減価償却費	6,740	6,740
その他	895	1,100
営業外費用合計	21,333	20,945
経常損失(△)	△417,493	△105,045
特別利益		
固定資産売却益	—	59
補助金収入	—	220,250
特別利益合計	—	220,309
特別損失		
固定資産売却損	101	—
固定資産圧縮損	—	220,250
固定資産除却及び撤去費	307	883
特別損失合計	408	221,133
税金等調整前四半期純損失(△)	△417,901	△105,869
法人税、住民税及び事業税	5,511	27,742
法人税等還付税額	—	△21,512
法人税等調整額	15,971	40,637
法人税等合計	21,483	46,867
四半期純損失(△)	△439,384	△152,736
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,463	△484
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△437,921	△152,252

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△439,384	△152,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,081	△59,684
退職給付に係る調整額	△4,375	△2,346
その他の包括利益合計	79,706	△62,030
四半期包括利益	△359,678	△214,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△358,252	△214,256
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,425	△511

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、「運輸業」の鉄道定期券について、従来、発売日を起点として一定の期間にわたって収益を認識していましたが、有効期間の開始日を起点として一定の期間にわたって収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は591千円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ591千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は10,631千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示しておりました「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	1,274,004	149,409	136,545	23,673	1,583,633	209,684	1,793,317	—	1,793,317
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4,084	7,468	263	267	12,083	175,557	187,640	△187,640	—
計	1,278,089	156,877	136,809	23,940	1,595,716	385,241	1,980,957	△187,640	1,793,317
セグメント利益又は損失(△)	△409,175	77,327	△46,501	△94,922	△473,271	△31,555	△504,827	2,693	△502,134

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,693千円には、固定資産未実現損益の消去額1,152千円、セグメント間取引消去1,540千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	1,458,809	152,997	169,533	58,003	1,839,344	260,926	2,100,271	—	2,100,271
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6,113	7,512	326	86	14,038	138,565	152,604	△152,604	—
計	1,464,923	160,510	169,859	58,089	1,853,382	399,492	2,252,875	△152,604	2,100,271
セグメント利益又は損失(△)	△106,598	82,471	△27,148	△63,435	△114,710	△47,667	△162,377	9,276	△153,101

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額9,276千円には、固定資産未実現損益の消去額1,497千円、セグメント間取引消去7,778千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	2,181	1,852	17.8
	定期外	〃	888	676	31.3
	計	〃	3,069	2,529	21.4
貨物トン数		千トン	928	895	3.7
旅客収入	定期	百万円	311	276	12.6
	定期外	〃	375	258	45.2
	計	〃	687	535	28.3
貨物収入		〃	659	635	3.8